

平成28年3月期
決算説明資料

YOSHITAKE 

JASDAQ

Listed Company 6488



平成28年3月期 決算概要

平成28年3月期の総括



国内経済は年度前半にかけては円安や資源コストの低下を背景に輸出採算が好転し、企業の業績を押し上げ、設備投資や雇用の回復をもたらしましたが、後半にかけ中国経済の減速等により企業の生産活動や個人消費は伸び悩みました。

今後におきましても、世界経済の回復力の弱さや企業収益の鈍化が懸念される中、景気の先行きについては不透明な状況が続くものと見られています。

当社グループにおいては、マーケット別の組織再編を行い、顧客ニーズの変化に即した提案営業を幅広く展開し受注の獲得に努めました。国内顧客向け販売は特に建築設備市場を中心に堅調に推移しました。一方海外顧客においては中国での売上は維持したものの、北米地域でのバルブ需要が低下したことなどもあり、販売活動は低調に推移しました。

当社グループは一丸となり、引き続き積極的な提案営業を展開いたしました結果、連結売上高は63億63百万円となり、前期に比べ0.2%の減少となりました。

損益面では、営業利益は4億84百万円（前期比372.7%増）、経常利益は6億97百万円（前期比20.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億2百万円（前期比78.5%増）となりました。

1. ヨシタケ・ワークス・タイランドの生産性改善による収益性向上
2. 工数低減やコスト削減の徹底による売上総利益の増加

平成28年3月期の連結貸借対照表



(単位: 千円)

	前期	今期	増減額
流動資産	5,811,501	6,350,451	538,949
有形固定資産	3,777,827	3,345,623	△ 432,203
無形固定資産	28,349	61,851	33,501
投資その他資産	2,176,360	2,137,776	△ 38,583
固定資産	5,982,536	5,545,250	△ 437,285
資産合計	11,794,038	11,895,701	101,663
流動負債	1,243,591	1,260,951	17,360
固定負債	972,501	968,105	△ 4,395
負債合計	2,216,092	2,229,057	12,965
純資産合計	9,577,945	9,666,644	88,698
負債純資産合計	11,794,038	11,895,701	101,663

連結貸借対照表主な変動要因



流動資産の増加

有価証券、投資有価証券の償還により現金及び預金が増加

有形固定資産の減少

減価償却および除売却により減少

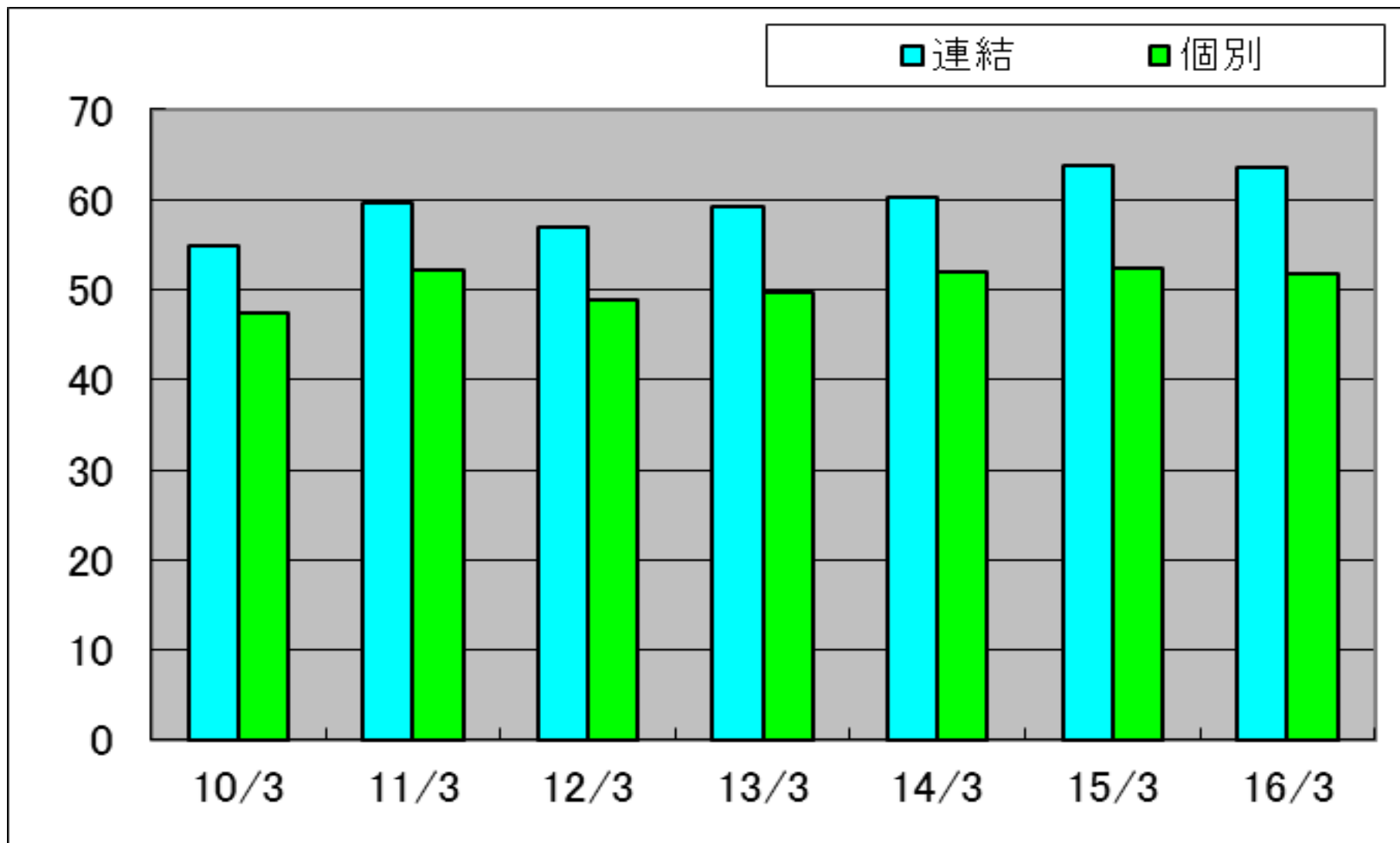
平成28年3月期の連結損益計算書



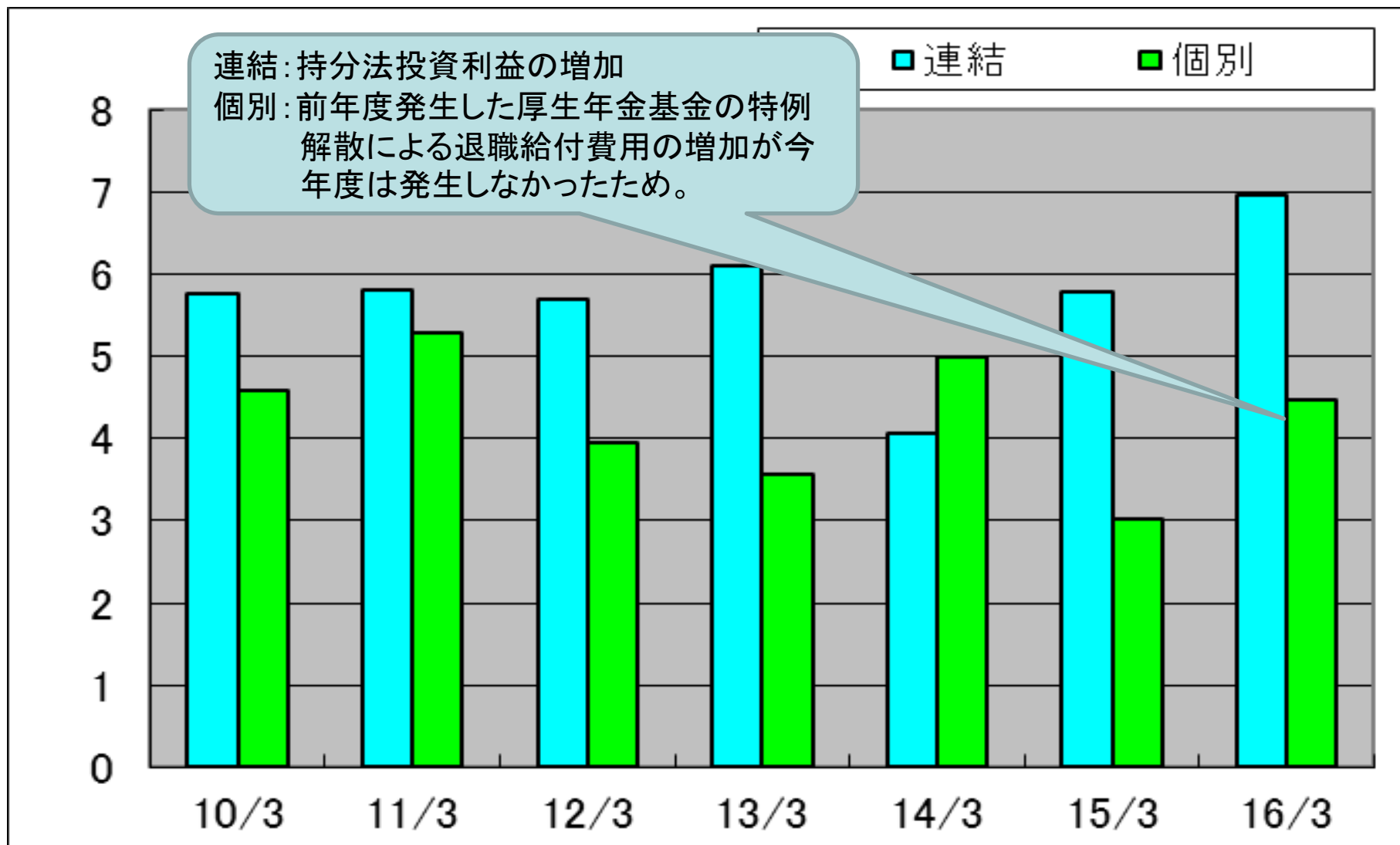
(単位: 千円)

	前期	今期	増減額
売上高	6,374,065	6,363,577	△ 10,487
売上原価	4,107,028	3,800,168	△ 306,860
売上総利益	2,267,036	2,563,409	296,372
販売費及び一般管理費	2,164,625	2,079,329	△ 85,295
営業利益	102,411	484,079	381,667
営業外収益合計	511,058	333,621	△ 177,436
営業外費用合計	34,583	119,840	85,257
経常利益	578,886	697,860	118,974
特別利益合計	—	11,337	11,337
特別損失合計	178,003	23,252	△ 154,750
税金等調整前当期純利益	400,883	685,945	285,061
法人税、住民税及び事業税	151,757	178,759	27,002
法人税等調整額	△ 25,455	1,729	27,184
当期純利益	274,580	505,456	230,875
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 7,247	2,457	9,704
親会社株主に帰属する当期純利益	281,827	502,998	221,170

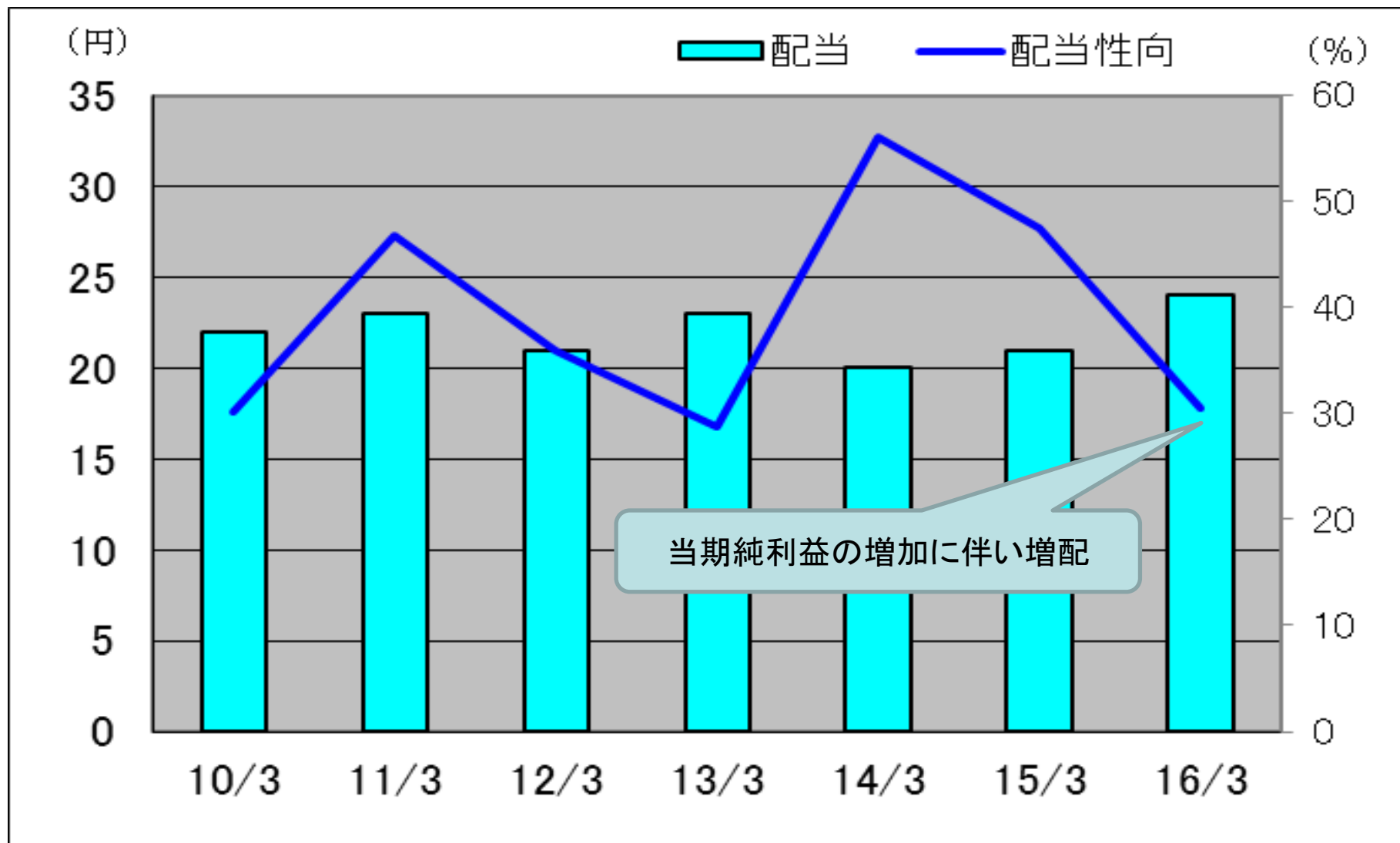
売上高の推移



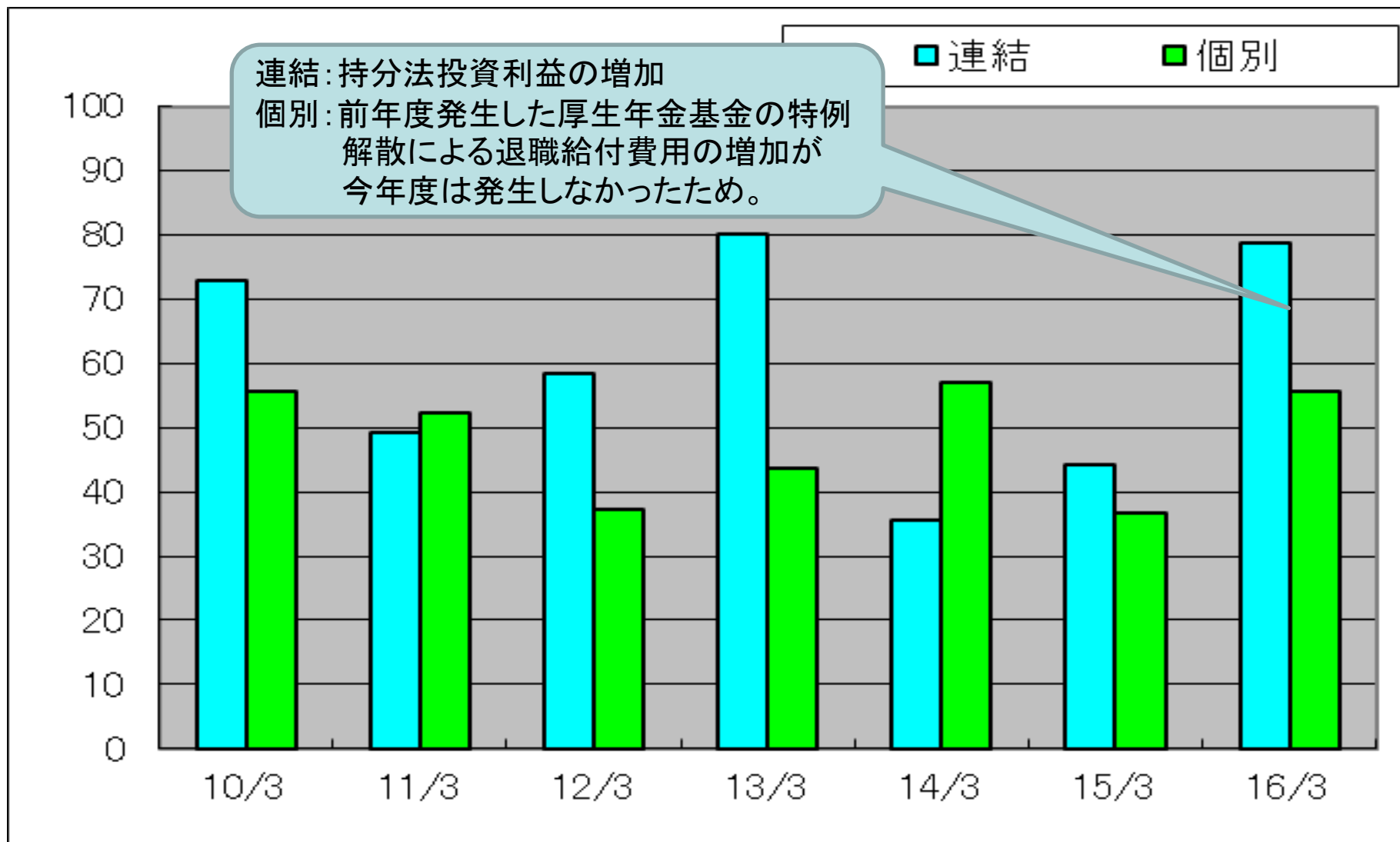
経常利益の推移



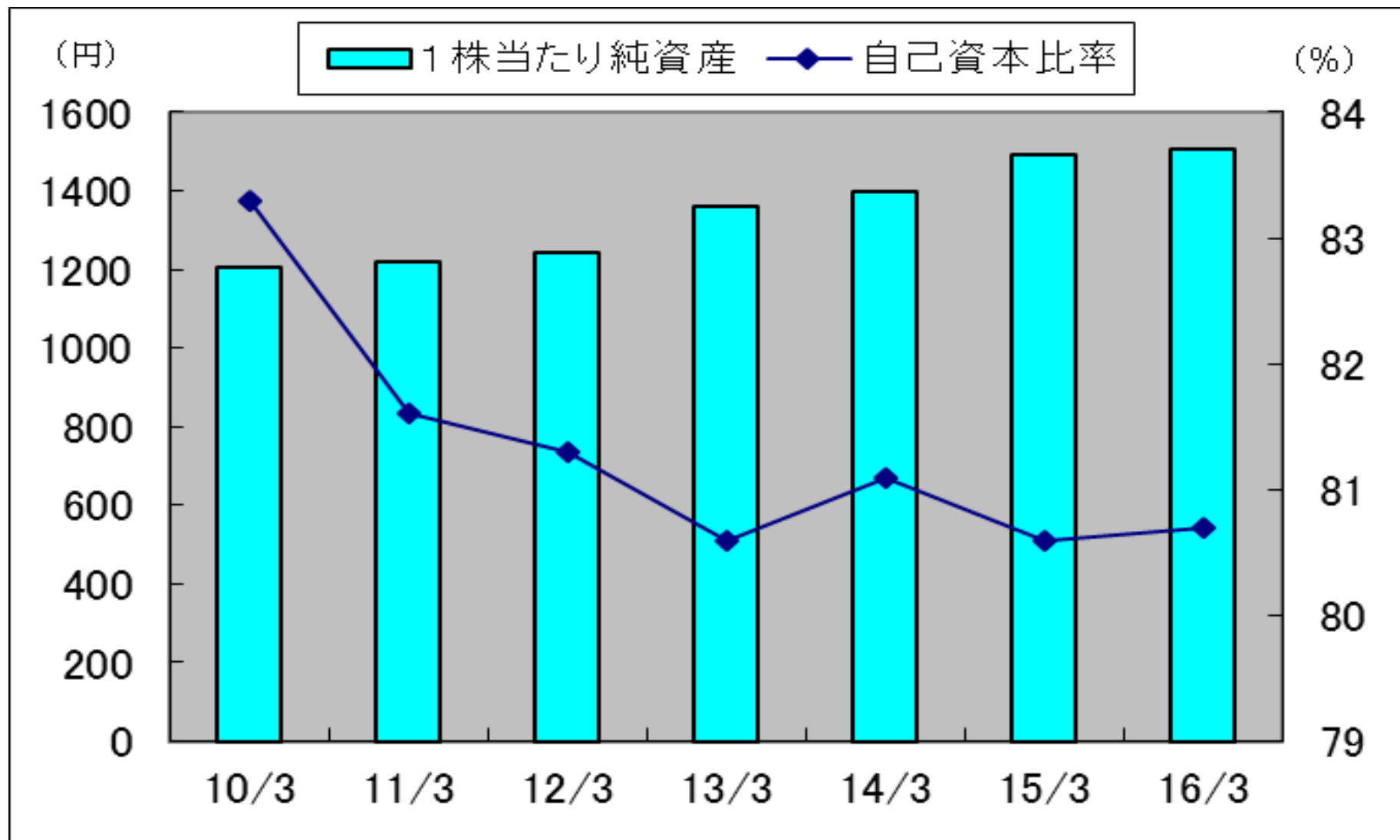
1株当たり配当の推移



1株当たりの当期純利益の推移



1株当たり純資産(連結)の推移



関係会社の業績は好調です。



Yoshitake Works (Thailand) Ltd. (ヨシタケ・ワークス・タイランド)は、新工場での生産を本格化し、工数低減やコスト削減を徹底したことにより、生産性・収益性は大幅に改善されました。

その他の子会社、持分法適用会社(関連会社)は業績好調です。

Yoshitake Works (Thailand) Ltd.	100%所有	(タイ国における製造子会社:各種バルブ製造)
カワキ計測工業株式会社	100%所有	(日本における製造子会社:流量計の製造)
宏洋サンテック株式会社	100%所有	(日本における販売子会社:ドイツGEMU社製品の販売)
ヨシタケアームストロング株式会社	50%所有	(日本における販売子会社:米国アームストロング社製品の販売)
Armstrong Yoshitake, Inc.	50%所有	(米国における販売関連会社:当社製品の販売)
Everlasting Valve Company, Inc.	50%所有	(米国における製造関連会社:特殊バルブの製造)



平成29年3月期 業績予想

平成29年3月期業績予想



(単位:千円)

	今期	来期予想	増減額
売上高	6,363,577	6,430,000	66,423
営業利益	484,079	570,000	85,921
経常利益	697,860	780,000	82,140
税金等調整前当期純利益	685,945	780,000	94,055
親会社株主に帰属する当期純利益	502,998	550,000	47,002

平成29年3月期業績予想の概要



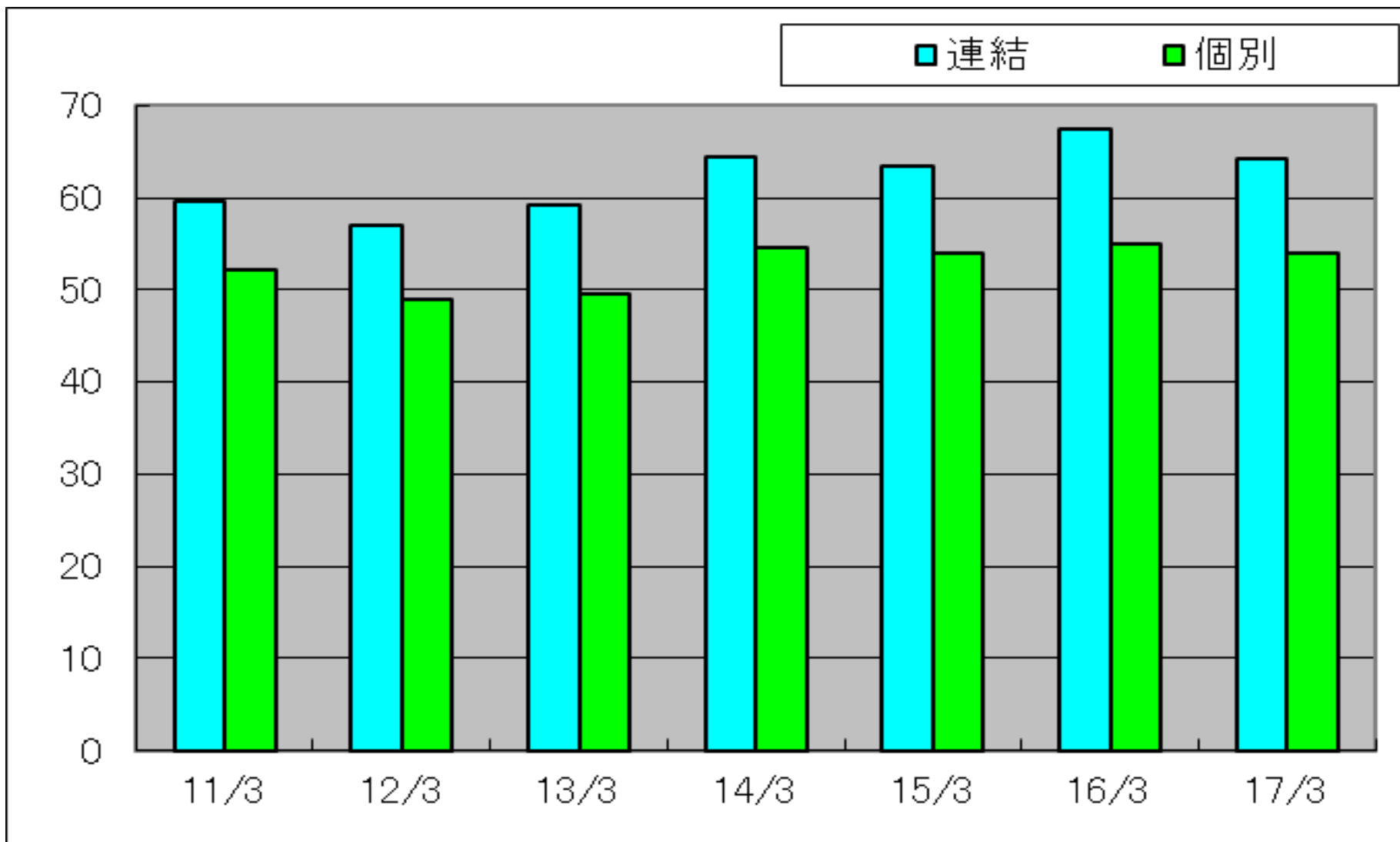
連結売上高:

国内、海外ともに不透明性があるものの国内景気については緩やかながら回復基調が継続すると見られ、海外においても米国を中心として回復基調を維持することが予想される中、より高度な提案営業を推進していく中で収益構造は改善を継続すると見込まれ、連結売上高は64億30百万円(当期比1.0%増)を予想しております。

損益:

景気回復に伴う物価上昇が素材価格に与える影響など懸念があるものの、当社グループ一丸となり生産活動全体の合理化とコストダウンに取り組む所存です。

売上高の推移



対処すべき課題



継続的な成長を目指して次のような課題に取り組み、経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

1. 海外売上高の増大
2. 国内の物件受注率の向上
3. 提案型営業による売上高の増大
4. 品質維持と生産リードタイム短縮の為の内製化率の向上
5. 災害リスクに対する更なる予防措置
6. 新製品の開発期間の短縮と開発コストの低減
7. 生産性の向上と生産高の増大

配当政策

当社は「株主に対する配当額の決定は最重要政策のひとつ」と考えており、基本的には利益に対応して配当性向30%以上を目標に配当額を決定する方針です。

当期の配当予想は、業績予想の結果を勘案し、前期に比べて1株当たり2円増配し26円とさせていただきました。

企業理念



フェア ビジネス

Y's a Business of Fair Endeavor

当社が掲げる企業理念は「フェアビジネス」。

いつでも、どんな時にも、誰に対しても常にフェアに行動します。

そして、コーポレートガバナンスやコンプライアンスはもとより、誠実なプロポーザル&ソリューションをお客様に提供することも、私たちが考えるフェアビジネスの条件です。



本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをお含みおき下さい。